

世間は広い～薬剤師の仕事も多種多様

山科区 K.Y

私は、市内の調剤薬局に勤務する薬剤師です。皆さんは、薬剤師といえば、どのような仕事に従事していると思いますか。ほとんどの人が、私のように薬局や病院での調剤、ドラッグストアでの薬の販売とか、製薬企業で新薬の研究や開発等をしていると考えませんか。実際、恥ずかしながら私も、薬剤師のほとんどがそのような仕事に従事していると、つい最近まで思っていました。しかし、先日、久しぶりに大学の友人と再会し、お酒を酌み交わしながら現在の仕事について語っているときに、友人の薬剤師達が私の思い描く薬剤師像には無い仕事に従事しているのを知りました。そこで彼らの話を少しではありますが、紹介したいと思います。

まず一人目は、中央卸売市場内の検査室で働いているA君。彼は、食の安心安全を守るために食品の衛生監視を行う業務に携わっています。職場は、市場内にある食品検査室で、食品に含まれている添加物や残留農薬等の検査などを行っているそうです。また、彼は、交代で朝4時から勤務することもあるそうです。朝4時からどのようなことをしているのかというと、魚がセリにかかる前に、法律で販売が禁止されている有毒魚が流通しないように除去したり、ウニやカキの温度管理や表示が、適正に行われているかを調べたりするために市場内を監視して回るそうです。朝4時からの勤務は、体力が必要な反面、充実していると言っていました。

もう一人は、大気の監視業務に携わっているBさん。彼女は、酸性雨や光化学スモッグ等の環境問題の原因となる硫黄酸化物や窒素酸化物といった大気汚染物質の監視をしているそうです。一定時間ごとに大気汚染物質を測定する機械から送られてくるデータで異常がないかをパソコンで監視したり、測定機が故障すると原因を調べて修理を行ったりしているそうです。他にも、環境学習の一環として、小学校に出向いて、学校の理科室で簡単な環境の実験を行ったり、実際に大気の測定所に小学生を連れて行って測定所の説明をしたりしていて、やりがいがある仕事だと言っていました。また、毎年、夏にかけては光化学スモッグが発生しやすくなるので気の抜けない日々が続くそうです。

このように同じ薬剤師でも、薬学で学んだ公衆衛生の知識を活かし、薬とは直接関係のない仕事をしている仲間と出会えたことに新鮮さを感じました。